

競技上の注意

- (1) 小雨決行。試合の有無や日程の変更等は必ず本部（会場）で確認すること。
- (2) 試合前の練習はサービス（一人が左右2本ずつ）のみとする。
- (3) ファーストサービスの際は、セカンドサービス用のボールを身につけて行うこと。
- (4) 団体戦では、試合の始めと終わりに両方のチームのメンバー（5名）および監督はサービスラインに沿って整列し、礼儀正しく挨拶を行うこと。
- (5) 体力消耗、痙攣等による試合中断は認めない。事故等による中断はレフェリーの判断による。
- (6) 選手の服装はテニスウェアとし、全国高体連服装規定に基づく。
- (7) ボールパーソンは、シングルス各校2名、ダブルス各校1名置くことを原則とする。
- (8) 選手は、試合中にコートを離れてはならない。
- (9) 今大会はMT0（メディカルタイムアウト）は適用しない。選手の健康と安全に対して万全を期すため「メディカルタイムアウトに関する基本的な考え方」に準じて対応する。
 - ①監督は選手の体調管理に責任をもって対処する。
 - ②無理をさせず、選手の将来を考慮してレフェリーがリタイアを促す。
- (10) 団体戦では、各校の初戦はすべての対戦を行う。それ以外の試合は2ポイント先取とする。試合の途中であっても2ポイント先取が成立した時点でポイント打ち切りとする。
- (11) マナー正しくすること。
 - ①ファーストサービスとセカンドサービスの間は静粛にすること。
 - ②コーチングは厳禁である。見つかり次第、該当者は退場、コーチングを受けた選手は失格とする。
 - ③ベンチコーチは審判の判定に抗議することはできない。
 - ④携帯電話等はコートに持ち込まない。やむを得ず持ち込む場合は電源を切っておくこと。
 - ⑤応援について
 - ・団体戦については、最初の試合が始まるまでは歌による応援を認める。
 - ・声出し応援を認めるが、当該コートの応援のみとする。
応援として立っている場所のコート後方から隣のコートを応援することは禁止である。
 - ・その場でジャンプや、フェンスを揺らしたりするような応援は禁止である。
フェンスに触れることも禁止とする。
 - ・些細なことでも、選手に直接プレッシャーを掛けるようなことが確認された場合、当該試合の当該校は応援を禁止とする。
 - ・技術的戦術的な応援やその選手に直接アドバイスするような声掛け、またその声掛けに選手が反応するような場合はコーチングと見なし、応援した者は当該試合の応援を禁止する。
 - ・コート1面全体を当該校1校で占拠することを禁止する。
 - ・部旗等は試合の妨げにならないようコートの端につけることとする。
 - ⑥タオルや水筒等の選手の持ち物は、本部で籠を準備したときのみコート後方に持ち込むことができる。
 - ⑦クラブハウスの使用は原則禁止とし、トイレや自販機の利用のみでの使用とする。
 - ⑧コート外でのボールを使った練習は禁止する。
 - ⑨頭髮の加工やピアス等の該当者の出場については本部で判断する。
 - ⑩その他、マナー面で悪質な場合、顧問を通して学校が責任をとること。
- (12) プレーは連続して行われねばならない。プレーとプレーの間は2.5秒以内とする。
- (13) 今大会はJTA公式トーナメントコートオブコンダクトに違反した場合、1度目は警告、2度目は失格とする。悪質な場合はレフェリーの判断による警告なしに失格とする。なお、一度警告・失格の措置を取られた者は今大会期間中に回復することはできない。